



その他 > 次のブログ>

nobuyataakai@gmail.com ダッシュボード ログアウト

# 板橋区ホタル生態環境館あれこれ

2015年1月28日水曜日

## ホタル生態環境館の累代飼育を否定する板橋区の報告書への反論文書

2015年1月20日に板橋区議会の区民環境委員会が開催され、そこでホタル生態環境館に関する陳情2件とホタルの調査結果と報告数の乖離についての報告が行われました。

区民環境委員会開催次第 (27・1・20)

- 開会宣言
- 理事者あいさつ
- 委員会長の指図
- 議題
  - ① 議案第100号 板橋区ホタル生態環境館の技術の継承と館の存続を求める陳情 (継続審査分26・2・17受理)
  - 第1項 趣意の件
    - 第110号 板橋区ホタル生態環境館の再調査を求める陳情 (継続審査分26・6・6受理)
    - 第111号 脱原発を求めた意見書の提出を求める陳情 (継続審査分26・6・6受理)
    - 第112号 「川内原発をはじめとする原発再稼働に反対し廃炉とし、原発ゼロ政策への転換に向けた意見書の提出」に関する陳情 (継続審査分26・11・27受理)
- ② 所管事項調査
  - 1 板橋区立意新館の取組について
  - 2 産学官連携推進事業について
  - 3 板橋区ホタル生態環境館のホタル等生息調査結果と元飼育担当職員との乖離について

区民環境委員会 (平成27年1月) | 板橋区 via kwout

この報告はPDF文書として以下に公開されました (以下、「乖離報告」と呼びます)。

[http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c\\_oshirase/066/attached/attach\\_66991\\_1.pdf](http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_oshirase/066/attached/attach_66991_1.pdf)

板橋区ホタル生態環境館のホタル等生息調査結果と元飼育担当職員の報告数との乖離について (報告)

乖離報告では以下のように総括しており、これまで板橋区が誇りにしてきたホタル累代飼育を否定し、外部から持ち込まれたものだ結論付けています。

### IX 総括

夜間特別公開時に約 20,000 匹が飛翔していたとされるものが、ホタル生息調査結果の推計 23 匹、実際に羽化したのは 211 匹程度と少なく、平成 25 年度の羽化数に対し、約 19,400 匹強 (99%) もの乖離があった。また、平成 25 年度のホタルの飼育環境には、特段の異常はなく、大量死の事実もなかった。例年、羽化していたとされる約 20,000 匹に足りないホタルは、関係者のホタルの持ち込み証言とそれを裏付ける宅配業者の配送伝票の物証により、ホタルが持ち込まれていたものと考えられる。

また、生息調査で 70,000 匹が、流されたという元飼育担当職員の発言についても、その根拠 (物証) はなく、また、そのような事実もなかった。さらに、塩基配列解析 (DNA) 調査報告によると、ホタル生態環境館において平成 26 年に羽化または発見されたゲンジホタルの DNA 調査では、福島県大熊町のホタルでなく、西日本地方の DNA を持ったゲンジボタルであることが明らかになった。これは、西日本地方の DNA を持ったホタルが人為的に移動されていた可能性が高いということを示しており、元飼育担当職員が述べていた累代飼育がなされていたなら、西日本地方のホタルが存在するというのは不自然である。

以上のことから、ホタル生態環境館のホタルは、外部から人為的移動により持ち込まれ、累代飼育も行われていなかったものと考えられる。このこ

### 紹介

東京都板橋区に「板橋区ホタル生態環境館」という施設があります。とても残念なことに、板橋区は2014年度をもって、この施設を廃止すると言っています。ひよんな事から、この施設の存続を願う区民の方々と知り合いになったので、その中で気づいたことのメモを書き留めておこうと思います。

### ブログアーカイブ

- ▶ 2017 (15)
- ▶ 2016 (61)
- ▼ 2015 (84)
  - ▶ 12月 (4)
  - ▶ 11月 (3)
  - ▶ 10月 (1)
  - ▶ 9月 (4)
  - ▶ 8月 (7)
  - ▶ 7月 (12)
  - ▶ 6月 (22)
  - ▶ 5月 (7)
  - ▶ 4月 (2)
  - ▶ 3月 (7)
  - ▶ 2月 (12)
  - ▼ 1月 (3)

ホタル生態環境館の累代飼育を否定する板橋区の報告書への反論文書

飼育業者に対する板橋区の事情聴取に関するパワハラ疑惑

板橋区のホタル生息調査の設計書は存在しなかった

▶ 2014 (19)

このガジェットでエラーが発生しました

### FOLLOW BY EMAIL

Email address...

### フィード登録

### 板橋区ホタル生態環境館あれこれ

板橋区議会に提出された和解案 - 2017/5/15  
 和解成立により2017年3月28日に懲戒免職取消と円満退職の辞令 - 2017/5/14

すっかり間があきましたがボチボチと再開します - 2017/5/14

とは、累代に及び板橋育ちのホタルが現時点において存在していないことを意味するものである。

しかし、この文書の中には印象操作としか思えない記述が散見され、さらに、筆者が指摘してきた生息調査の問題も全く説明されておらず、一読して不信感を抱くものでした。そのため、元飼育職員の関係者に連絡を取り、乖離報告の内容についての確認を行おうとしたところ、代理人（弁護士）が記述した反論文書を送っていただきました。

まだ完成版ではないとの事ですが、論理的かつかなり網羅的に反論をまとめていただいています。乖離報告と合わせて読むことをお勧めします。もし訂正が入った場合には随時差し替えようと思います。

#### 報道関係各位

先日、板橋区より「板橋区ホタル生態環境館のホタル等生息調査担当職員の報告数との乖離について」が発表されましたが、当様々な問題があり、専門性の欠如、客観性の欠如、論拠としている阿部氏の実践の無視等を指摘することができるものであります。

また本日1月26日、板橋区ホタル生態環境館の廃止へ向けて、知も了解も無いまま、板橋区資源環境部環境課がせせらぎ内の底態を水槽に移し、水を抜くという作業をスタートさせました。

そこで当職は、添付文書のとおりこれに対し反論いたします。論文書は取り急ぎまとめたものであり、後日詳細な反論を予定す

冒頭、以下のような驚くべき問題指摘から始まっています（文中の氏名を○○に置き換えました）。

#### 1 全体を通して

本件報告に至るまでの手続及び報告の中での手続き上の説明には大きな問題を指摘せざるを得ないとともに、その内容は欺瞞に満ちている。

本件報告には「平成25年度より、ホタル生態環境館のあり方について、資源環境部にあり方検討会を設置し、検討を行ってきた」（「Ⅱ経緯」）との記述がある。

しかし、そもそもこの「あり方検討会」なる存在を○○氏は知らないし、そのような存在を聞かされたこともない。

この後にも、元飼育職員に対して「あり方検討会」がヒヤリングを行ってきた事実はまったく存在しないという驚きの指摘が続きます。そして、第二章では報告書の内容について専門性の欠如や論拠としている内容の矛盾等について丁寧に指摘しています。

#### 2 内容上の検討



はじめに

本件報告には様々な問題があるが、専門性の欠如、客観性の欠如、論拠としている内容の矛盾、○○氏の実践の無視等を指摘することができる。以下詳論する。

この文書の読み解きは別の機会にチャレンジしてみたいと思います。本日はまずは反論文書をご紹介させていただきました。

以上

投稿者 浅学俊郎 時刻 2:40

  +1 Google でおすすめする

0件のコメント:

コメントを投稿

取消が審議される懲戒免職処分の異常な経過 (2) - 2017/3/6

12月23日の講演会資料で公開された日本共産党中央委員会の見解 - 2017/3/4

ページビューの合計



44,099

コメントを入力...

コメントの記入者: Unknown (Goo ▾)

ログアウト

公開

プレビュー

お知らせを受け取る

次の投稿

ホーム

前の投稿

登録: コメントの投稿 (Atom)

「画像ウィンドウ」テーマ. Powered by Blogger.